

いきいき人生

2020年
新年号
vol.184

公益社団法人大田区シルバー人材センター

〒144-0055 大田区仲六郷1-6-9-125
TEL.03-3739-6666 FAX.03-3734-0722 E-mail.ota@sjc.ne.jp
<https://www.ota-sjc.or.jp>

会員数 3,116名
男 1,831名
女 1,285名
2019/11/30時点



謹賀新年 令和2年 年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。

大田区シルバー人材センターの皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

いよいよ本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。区民の関心も大いに高まっている中、区ではブラジルチームの事前キャンプの受け入れや選手団が宿泊する平和島ユースセンターの整備等に取り組んでおります。また、国内外から来訪する多くの方々に「おもてなし」をするため、区独自のボランティア事業である「おおたウェルカムボランティア」を実施しております。昨年、募集・選考を行い、採用された300名の区民の方々が、活動してくださいました。会員の皆様の中にもボランティアにご参加いただける方もいらっしゃるのではないかと思います。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

豊富な社会経験を持つシルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、様々な場面で地域への活動に関わっていただき、地域力の向上や地域福祉の推進にご尽力いただいております。今年度で3年目を迎えた大田区シルバー人材・保育アシスタント事業では、区立・私立保育園30園において88名の会員の皆様が保育や調理の業務補助として、楽しく仕事をされていると伺っております。また、要支援認定を受けている高齢者の生活をサポートする「大田区絆サービス」においても、70名を超える会員の皆様が担い手として登録してくださっていると伺っております。地域の支えあいにおける「支える人」としての一層のご活躍を期待しております。

高齢者の虚弱を意味するフレイル状態になることを予防するためには、「運動・栄養・社会参加」が有効であると言われています。区では他の自治体に先駆けてフレイル予防に取り組んでおります。会員の皆様におかれましては、その範たる存在として、今後とも主体的に地域への社会貢献活動に関わり、会員相互の交流を深め、日々を生き活きとお過ごしいただきたいと願っております。

結びに、大田区シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

大田区長 松原 忠義



明けましておめでとうございます。会員、職員、地域の皆様には清々しい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

令和時代の幕が開けた昨年、当センターにとっては、躍進の兆とも言える新風と芽生え3点の事象に気付かされます。1点は昨秋、草加、習志野、静岡各市のシルバー人材センターから視察訪問を受けたことです。漸進変革の地道な活動を続ける当センターに着目されての実地研修でした。率直な意見情報交換によって実効ある視察対応となりました。こうした各センターによる自主・横断の動きは、シルバー人材センターの社会的存在感を全国レベルで高めていく原動力となるであろうと、今後の広がりが期待されます。2点は初めての就業分野として、スポットでしたが自動車運転シミュレーターの業務を受託したことです。会員延べ1,000名のシミュレーター操作のデータが運転技能計測機の商品開発に活かされました。情報化時代の多様な社会貢献の在り方に示唆を与えられました。3点はシルバーサロン活動の一環として、蓮沼分室が入所する「ふれあいすぬま」の用地の一隅に花壇を開設出来たことです。日頃のブロック役員の活動に対する大田区のご支援を得て希望がかなえられました。各地域の花18種の開花を楽しみに整地しているところです。

今年は第2次中期計画の推進に加え、こうした萌芽を育み、当センターの価値創造＝①活動分野の開拓、②就業率向上のためのシステム化、③会員・職員の啓発、④健康・安全意識の高揚、⑤東京オリンピック・パラリンピックのボランティア活動への柔軟な支援を重点的課題として取組みます。

今年の干支「子」にあやかり、「ネズミ算」のように加入会員が勢を増し、地域貢献力が高まりますよう皆様と手を携え、愉快地前進してまいりましょう。

会長 河合 武郎



田園調布警察署「秋の表彰式」で当センターが表彰されました!

11月22日(金)、田園調布警察署の「秋の交通功労者の表彰式」で、当センターが表彰されました。

これは、田園調布警察交通安全イベントにおいて「白バイ警察等の制服着つけ」をボランティアとして、長年にわたりお手伝いをしてきたことに対し、交通事故防止寄与団体として表彰されたものです。河合会長は「当センターにとって大変名誉なことです。女性会員の皆様のチームワークに深く感謝します。」と受賞の喜びを語りました。



第1回 新井宿地区 福祉と文化と医療のまちのスペシャルデー 11月3日(日)

地域の皆さんと障がい者との相互交流、親交を目的に「障がい者総合サポートセンターさぽーとぴあ」「大田文化の森」と「新井宿福祉園」で開催されました。センターでは沿道の安全確保のための見守りと案内に6名の会員が従事しました。会場に来た方々が安全にイベントを楽しめるよう、笑顔で丁寧に対応しました。



第71回 大田区野菜と花の品評会 11月17日(日)

大田文化の森で開催され、当センターから7名のボランティアが駐輪場整理と野菜や花購入者の行列の整理をしました。区内で収穫された野菜や花が販売され、多くの人が並んで短時間で売り切れる人気でした。会場では表彰式も行われました。駐輪場の自転車出し入れ補助などの親切な対応に「ありがとうございます!」の声も聞こえていました。



第16回 ポレポレECOまつり 11月10日(日)

地域の大人と子どもたちが参加し、「使い捨て容器をなくそう」「ゴミを減らそう」など環境にやさしいイベントがこらば大森で開催されました。今年のテーマは「江戸からつながる未来へのタネさがし」で区の花植え運動の促進。当センターの会員33名は駐輪場整理、乳母車の預かり、道路誘導などの活動と寺子屋での折り紙、しおり作り、とんぼ凧やミニ凧の飾りなどの、ものづくり教室を担当、多くの子どもたちが親子で楽しめるよう、お手伝いをしました。



第41回 萩中祭 11月17日(日) 大田生活実習所・はぎなか園

「手と手をつなごう この街で」をテーマに、萩中祭が開催されました。毎年2000人ほどの来園者があるとのこと。当センターからは8名のボランティアが参加し、輪投げゲームの手伝いや手づくりビーズの販売、食事コーナーなどを担当しました。グラウンドに設けられたステージを中心に、模擬店、バザー会場、ゲームコーナーなどが設けられ、多くの来園者で賑わっていました。ボランティアの方が「楽しい経験ができた」と元気に話をしてくれました。フィナーレには、祭りの最後を飾る施設利用者全員によるソーラン節が披露されました。



調布地区6ブロック合同・会員懇談会 11月12日(火)

嶺町集会室で会員懇談会が開催され、一般の方を含め34名が参加しました。

「頭と心をリフレッシュ 心身ともに冴えた生活を送りたいあなたに!」のタイトルで、地域包括支援センター嶺町の保健師による認知症予防等についての講話とシナプソロジー※の実技指導がありました。

後半は3グループに分かれて懇談会が行われました。それぞれ自己紹介をし、現在の趣味や過去に患った病気の克服談など、シルバー世代ならではの話に花が咲きました。



シナプソロジー実技



懇談会の様子

※シナプソロジーとは

『2つのことを同時に行う』『左右の手足で違う動きをする』といった普段慣れていない動作をすることで脳が活性化され、認知機能や運動機能の向上と共に不安感の低下も図れる。

第7回シルバーランド・六郷ブロック懇談会 11月15日(金)

六郷地域力推進センターでブロックの懇談会が開催されました。会員および一般の方が50名参加しました。第1部は土屋英俊氏(蒲田のむすび院長)による、冷え症をどう乗り越えるかというお話です。

講師からは、体のバランスをとることの大切さ、首から上の症状に効果のあるツボや冷え症に効くツボなどの話がありました。身振り手振りをまじえて熱弁をふるう先生に、参加者の一人は「今日の先生の話は、下手な落語を聞いているより面白かったし、ためになった」と語っていました。

第2部は輪投げゲームが行われました。輪投げゲームは9個の輪を5m先の的に投げ、入った点数で競うもので、参加者は、童心に帰ったようにはしゃぎ楽しんでいました。



安全コーナー・花粉症対策は早めに!

厳寒期のいま、皆さんは心の底から「春よ来い・早く来い」の心境で一杯だと思いますが、その前にやって来るのがスギ花粉の飛散。スギ花粉の飛散による花粉症患者は、今や国民の25%ほどにもなるそうです。会員の皆さんの中にも花粉症で困っている方が、相当数いるのではないのでしょうか。

花粉症の原因の約70%はスギ花粉で、鼻や目の粘膜に付いた時にアレルギー反応が起きることで発症し、くしゃみ・鼻水・鼻づまりや目の痒み等の症状が生じます。症状が重くなると頭が重い・皮膚が痒い・倦怠感がある・集中力が低下するなどします。そこで今回は困っている人と、今後の発症を防止したい人のために対策を講じてみましょう。



【対策方法】

(1) 花粉の飛散情報をメディアから入手し、飛散しやすい日に注意する。

- ①気温が高く天気の良い日に注意する。
- ②南風が吹き前日が雨天の時は注意する。

(2) 外出時には服装・行動に気をつける。

- ①花粉の飛散が多い時は外出を控える。
- ②帽子・メガネ・マスクの着用を心掛ける。
- ③帰宅時は衣服に付いた花粉を払い落してから入室する。
- ④帰宅後は洗顔やうがいを心掛ける。

(3) 外出時以外にも対策をする。

- ①ドアや窓をきちんと閉める。
- ②布団はできる限り干さない。
- ③室内では空気清浄器を使用する。

(4) 花粉症を発症した時には適切な処置をとる。

- ①眼をこすらない。
- ②無理に鼻をかまない。
- ③無理をせず早い時期に医療機関を受診する。

適正・安全委員会

大田区からのお知らせ

勝海舟記念館 9月7日オープン!!

国登録有形文化財である旧清明文庫を保存・活用しながら増築し、全国発の勝海舟記念館を開館しました。海舟の功績や大田区との縁を紹介するとともに、海舟の想いと地域の歴史を伝える記念館を目指しています。

●開館時間

10時から18時まで(入館は17時30分まで)

●休館日

毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、臨時休館日

●入館料

一般300円、小中学生100円

※団体(20名以上)は2割引

※身体障害者手帳などをお持ちの方と付き添いの方
1名は無料(要証明)

※65歳以上の方は240円(要証明)

●所在地

大田区南千束2-3-1
(東急池上線「洗足池」
駅から徒歩6分)



●問合せ先

勝海舟記念館
電話 03-6425-7608

就業相談のお知らせ

次の日程で就業相談(就業上のトラブルや悩みの相談)を予定しています。

相談日時: 1月17日(金) 13時30分

場所: センター本部 作業室

申込方法: 会員番号・氏名・住所・電話番号・相談内容を任意の紙にご記入の上、本部に郵送又はご持参ください。

問合せ先: 事務局 鈴木 TEL. 03-3739-6666

清掃研修のご案内

新たに清掃業務をやってみたい方、すでに清掃業務に携わっている方、どなたでも参加できます。定員10名です。ふるってご参加ください!

日程: 1月28日(火) **時間:** 14時~15時30分

会場: ふれあいはすぬま(西蒲田3-19-1)

服装: 動きやすい服装

持ち物: 「清掃の基本」(黄色の冊子)

参加申込みは TEL. 03-3739-6666 事業部まで

理事会報告

令和元年度 第8回理事会 11月27日

(承認された議案)

- ①新規入会承認の件
- ②正会員会費の一部免除の件
- ③令和元年度ボランティア活動の件(追加)

令和元年分の確定申告

確定申告に必要な令和元年分(平成31年1月~令和元年12月)の「配分金支払証明書」は1月末に郵送いたします。下記を参考の上、誤りのないよう申告をしてください。

配分金等に対する所得税の取扱い

シルバー人材センターで得た配分金収入等に対する所得税の取扱いは、以下のとおりです。

1. 配分金収入は、所得税法上「雑所得」に区分されます。雑所得の金額は、原則として雑所得の総収入金額から必要経費を控除した金額です。したがって配分金収入に係る必要経費の額は、配分金収入から控除することができます。
2. しかし、必要経費の額が65万円未満の場合には、租税特別措置法第27条「家内労働者の特例」の適用により、65万円(収入金額が限度)を控除することができます。なお、配分金収入以外に給与収入がある会員は、65万円(給与収入の金額が限度)の給与所得控除が受けられますが、この場合配分金収入から控除する金額は、65万円から給与所得控除の金額を差し引いた残額になります。
3. 公的年金を受給している会員は、「家内労働者の特例」とは別に公的年金等控除が受けられます。

▼配分金にかかる所得税は、概ね次のように算出されます。(収入が配分金収入、公的年金等の収入、給与収入の場合。個人年金等のその他の収入がある場合は異なります)

[(配分金収入-必要経費)+(公的年金等の収入金額の合計額-公的年金等控除額)+(給与収入-給与所得控除)-基礎控除(38万円)等の所得控除]×適用税率=所得税額

※平成25年分以降は、所得税額に2.1%を乗じた復興特別所得税の計算が必要となります。

- 詳細は管轄の各税務署にお問合せの上、正しく申告してください。

大森税務署 ☎03-3755-2111

雪谷税務署 ☎03-3726-4521

蒲田税務署 ☎03-3732-5151

(注)お送りする令和元年分配分金支払証明書の金額は、1年間の配分金と交通費の合計金額です(交通費は必要経費として取扱うことができます)。